



89 健康管理の重要性認識

運送業界の健康支援を生きがいに

○CHISでは10月18日、「どうして居眠り運転対策」～高速ツアーバス事故を踏まえて～をテーマに、第7回OCHISセミナーを開催(大阪市内)しました。高速バス事故に関しては、すでに国交省が委員会を立ち上げ、動き出してきてはいますが、当法人のストライクゾーン(立ち位置)は、何といてもドライバーの身体から事故防止対策を模索していくことであると捉えて、本セミナーを企画しました。「居眠り運転対策」を「直球テーマ」にセミナー開催しているところは見当たらないとの理由で、全国からバス・タクシー・トラック関係者が参加くださったことも特徴的です。

セミナーの概要を、ぜひこの紙面でお伝えしたいのですが、何分にも私の未熟な文才では伝

89 健康管理の重要性認識

わりきれませんので、参加者の皆さんのアンケート用紙に記載いただいた熱いご感想やご意見の抜粋で紹介いたします。

【睡眠対策と感想】

「ドライバーの睡眠への認識はかなり低いので、これから教育したい」「日々の健康管理と、居眠りは密接な関連性がある」「睡眠の生体リズムやメカニズムを知ることが居眠り対策に不可欠である」「睡眠不足は蓄積されていくので、慢性睡眠不足は居眠りにつながる」「日本人が睡眠不足国民であるということが分かった」「寝ないで運転するのは、飲酒運転と同じ」「睡眠時間は自分では分かりにくい」「睡眠を客観的に知ることが難しい」「睡眠時間を聞いても正直言わないのではない

か。聴き方が難しい」など

【居眠り運転対策と感想】

「健康管理と事故防止の両輪対策の必要性が理解できた」「安全の確保は何よりも健康な体と心から」「今後は健康管理に踏み込まないと、事故は減少しないのでは?」「居眠りの原因には健康状態に影響されるものが非常に多い」「対面点呼の重要性の再認識ができた」「SAS検査後のサポートプログラムを構築する必要がある」「メタボ健診はしているが、SASとつなげて考えていなかった」「健康管理面は当社でも苦手だと感じた」「健康診断の情報を事故防止対策に生かすことが重要。参考になった」「運行管理だけではなく健康管理の重要性を感じさせられる」「いろいろな統計グラフは、社内研修に活用したい」「個人情報取り扱いについて誤解していたことが分かった」など

さて、居眠りの原因を封印して事故を減少させることは困難です。ぜひ皆さまと一緒に、これから本音で語り、模索し、悩みたいと思います。

(面輪会・OCHISセミナーとも本テーマで開催していきます。詳細はHPをご覧ください)(次回は12月号に掲載)

《全日本トラック協会・大阪府トラック協会 SAS検査受託機関》

NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

理事 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP http://sas.ochis-net.jp/